

神のエコノミーにしたがった宇宙の歴史——人類歴史の内側にある神聖な歴史

聖書：ヨエル 1:4. 2:28-32. 3:11-21. エペソ 3:16-21. 4:15-16. 啓 19:7-9. 22:17 前半

I. この宇宙には、二つの歴史があります。すなわち、人の歴史（人類歴史）と神の歴史（神聖な歴史）です。前者は、外側の殻のようなものであり、後者は、殻の内側の核のようなものです：

A. わたしたちは人類歴史の内側にある神聖な歴史について、明確な展望を持つ必要があります——ヨエル 1:4. 2:28-32. 3:11-21：

1. 人の歴史、世界の歴史、物質的な人類歴史は、外側のものです。神聖な歴史、すなわち人と共にあり、人の中にある神の歴史は、内側のものです。この歴史は、人性の中にある三一の神の奥義の事柄です——I テモテ 3:15-16：

a. キリストが肉体と成る前、神は人と共に、人の間で行動しました。この事は、キリストと召会のために神の永遠のエコノミーを遂行するという神の直接的な行動ではありませんでした。それは、神の旧創造における間接的な行動であって、神の永遠のエコノミーのために神の新創造における直接的な行動を準備するためでした。

b. 神の歴史は二つの部分から成っています。すなわち、旧約の中に見いだされる、人「と共にある」神の歴史と、新約の中に見いだされる、人「の中にある」神の歴史です。

c. 人の中にある神の歴史は、肉体と成ることをもって始まりました。そして、肉体と成ること、人の生活、十字架、復活、昇天という彼の過程をもつて継続しました。ホセア書第 11 章 4 節は、これらが人の綱、愛のきずなであると言います。

2. 神聖な歴史、人の中にある神の歴史は、キリストが肉体と成ることから、彼の昇天を経過して命を与える霊と成ったことであり、神聖な歴史はその後、彼がわたしたちに内住することをもつて継続しています。この内住することは、再生、聖別、更新、造り変え、同形化、栄光化という神の有機的な救いを通してであり、わたしたちをキリストの栄光の花嫁とします——ローマ 5:10. エペソ 5:27. 啓 19:7-9。

3. この事は、その霊としてのキリスト、すなわち、手順を経て究極的に完成された三一の神が、花嫁としての召会、すなわち、手順を経て造り変えられた三部分から成る人と結婚することにおいて、頂点に達します——22:17 前半。

4. 主の再来の時、二人の人物が対峙します。すなわち、反キリスト(外側の人類歴史の中の人物)と、キリスト(内在的で神聖な歴史の中の人物)です

——Ⅱテサロニケ 2:2-8：

- a. キリストは再来し、彼の軍隊である彼の勝利者たちと共に下ってきて(ヨエル 3:11)、反キリストと彼の軍隊を打ち破ります(啓 19:11-21)。
- b. 神聖な歴史の中の人物が、人類歴史の中の人物を打ち破った後、千年王国がやって来ます。この王国は、新エルサレムにおいて、すなわち神聖な歴史の究極的完成の段階において、究極的に完成します—— 20:4, 6. 21:10。

B. わたしたちは、自分が人類歴史の中に生きているだけなのか、それとも神聖な歴史の中にも生きているのかを、考える必要があります—— 1:11, 20.

12:11. 14:4 後半. 19:7：

- 1. わたしたちはみな人類歴史の中で生まれましたが、神聖な歴史の中で再び生まれ、再生されました——ヨハネ 3:6。
- 2. もしわたしたちの生活がこの世の中にあるなら、わたしたちは外側の人類歴史の中に生きているだけです——ローマ 12:1-2. I ヨハネ 2:15-17。
- 3. もしわたしたちの生活が召会の中にあるなら、わたしたちは内側の神聖な歴史の中に生きています——I コリント 1:2。
- 4. 召会はキリストの現れの拡大として、外側の人類歴史の内側にある神聖な歴史の一部分です——I テモテ 3:15-16：
  - a. 召会生活の中で、神の歴史はわたしたちの歴史です。神とわたしたちは一つの歴史、すなわち神聖な歴史を持ちます。わたしたちの神はすばらしい歴史を持っており、この歴史はわたしたちを含んでいます。神の歴史はわたしたちの歴史となりました。なぜなら、彼はわたしたちと結合しているからです——I コリント 6:17。
  - b. 神がご自身の歴史の中で行なった事は何であれ、行なっている事は何であれ、行なおうとしている事は何であれ、すべてわたしたちのクリスチャン生活と召会生活のためです。

C. 「わたしたちの生活、日常の歩み、学業、仕事、事業は、今日の地上での神の驚くべき卓越した行動の中の神の歴史の一部分でなければなりません。……わたしたちは神の歴史において、神を愛する勝利者たちの中で神が行動し、活気づけるとき、神と一である必要があります。すなわち、わたしたちは今日、この地上で、命において、生活において、わたしたちが行なうすべてにおいて、神と一である必要があります！ わたしたちは神の今日の歴史を書く必要があります！」(ヨシュア記ライフスタディ、メッセージ 1)。

Ⅱ. 今日、神聖な歴史の中で回復されつつあるものは、神のエコノミーであり、その中心は神の中心の働きです。それは、ご自身をキリストにあって彼の選ばれ贖われた人々の中へと造り込み、ご自身を彼らと一にして、ご自身を

表現することです——エペソ 3:16-17 前半、 4:4-6 :

- A. 神の回復において神のエコノミーを遂行するための神の究極的な行動は、ご自身を、すなわち父、子、霊を、わたしたちの中へと造り込んで、わたしたちの命とならせることです。それによって、わたしたちは彼を生かし出し、彼を表現して、彼のからだ、召会となります—— 3:16-21、 4:4-6, 15-16。
- B. 神のエコノミーは、キリストをすべてとならせ、キリストを中心性と普遍性とならせて、神の増し加わり、神の拡大、すなわち召会を生み出すことです。神の増し加わり、神の拡大は、神の豊満であり、彼を表現します——コロサイ 1:18、 2:19、 3:10-11、 エペソ 3:19。
- C. 神がご自身のエコノミーにおいて願っていることは、ご自身を人の中へと造り込んで、わたしたちと一となり、わたしたちの命、命の供給、すべてとなり、わたしたちを彼の表現とならせることです。こういうわけで、神のエコノミーにおける神の意図は、神と人から構成された団体の実体を得て、彼の永遠の表現とならせることです—— 4:4-6。
- D. 神のエコノミーによれば、神は世界を支配し、ある状況を生み出してイスラエルを彼の選民とならせ、召会を得て彼の奥義的な民とならせ、諸国民を得て神の永遠の王国の中の臣民となさせます。もしわたしたちがこの事を見るなら、自分がどこにいるのかを知り、自分の人生の意義を知るようになります—— II テモテ 1:9、 ローマ 8:28-30。
- E. わたしたちは神のエコノミーの明確なビジョンを持ち、このビジョンによって支配され、制御され、導かれ、保たれ、保護される必要があります。今日、主の回復の中で、わたしたちは神のエコノミーのビジョンにおいて、力強くなり、また揺り動かされない者とならなければなりません——使徒 26:19、 箴 29:18 前半。
- F. 神の究極的な行動は、神の奥義であるキリストにわたしたちの中へと入っていただき、わたしたちの命となっていていただくことです。それによって、わたしたちは彼の生ける肢体となつて、彼のからだを形成します。彼のからだは、すべての中ですべてを満たしている方の豊満です——コロサイ 2:2、 1:27、 3:4、 2:19、 エペソ 1:22-23 :
1. キリストを生きている人たち、霊の中で生きている人たちは、団体の面においてキリストの実際的なからだです。彼らは実際において一人の新しい人、すなわち新創造でもあり、三一の神を表現する新しい生活をします—— 4:16, 24。
  2. 最終的に、からだの生活はローマ第 12 章の実際へと到達します。この事は、主の再来のために花嫁の用意を整えます——啓 19:7。
  3. 「神の終極の動きに対して負担を持ちなさい。そうすれば、神とあなたが一であるのを見るでしょう。あなたの生活には何の問題もないでしょ

う」(世界情勢と神の動き、第4章)。

4. 「起き上がり、主の回復のために立ちなさい。これは終極の時代であり、神はご自身の定められた御旨を達成し、主の再来をもたらします」(世界情勢と神の動き、第5章)。

© 2020 *Living Stream Ministry*